

## （資料 1）山縣記念財団刊行『海事交通研究』（年報）のバックナンバー

### 「海事研究年報」

#### 第 1 号（1943 年／昭和 18 年 7 月）

序	山縣 勝見（当財団理事長）
我が統制経済に於ける海運統制	小島 昌太郎（京都帝国大学教授）
明治海運史における国家と戦争	富永 祐治（大阪商科大学教授）
海運政策に於ける中立貿易－アメリカ海運政策論の分析－	佐波 宣平（京都帝国大学助教授）
海運原価について	松本 一郎（当財団理事）

#### 【著書紹介】

ドイツ景気研究所「海運に於ける戦争」（1940 年）	佐波 宣平（前出）
山戸嘉一著「海事国際私法論」	折茂 豊（東北帝国大学法文学部助教授）
海運関係文献解題（昭和 17 年）	天野 敬太郎（京都帝国大学司書）

### 改題・復刊：「海事交通研究」（年報）

#### 第 1 集（1965 年／昭和 40 年 11 月）

復刊のことば	山縣 勝見（当財団理事長）
長期海上運送契約に関する一つの経済理論	佐波 宣平（京都大学教授）
定期船市場における競争の分析	前田 義信（甲南大学教授）
徳川中・後期米穀海運企業史	松本 一郎（当財団理事）
定期用船契約に関する立法例	窪田 宏（神戸大学教授）

#### 第 2 集（1966 年／昭和 41 年 6 月）

幕末・明治初期海運企業史	松本 一郎（当財団理事）
港湾投資効果の判定	中西 睦（早稲田大学助教授）
船舶の火災と海上保険および共同海損	亀井 利明（関西大学助教授）
海上労働の特殊性と船員賃金	山本 泰督（神戸大学助教授）
海運用役の供給曲線	山田 浩之（京都大学助教授）

#### 第 3 集（1966 年／昭和 41 年 12 月）

イギリス港湾業の労務管理に関するメモ－ロンドン港における事情を中心として－	地田 知平（一橋大学教授）
港湾管理における英米両方式の得失について	高村 忠也（神戸大学教授）
西ドイツ内航海運に関する一考察	秋山 一郎（神戸大学助教授）
世界海上荷動きの変遷と不定期船海運業	松本 一郎（当財団理事）

#### 第 4 集 (1968 年 / 昭和 43 年 3 月)

英文海上保険証券の解釈原則 - Ivamy 著 "General Principles of Insurance Law" (1966)  
と拙著「海上保険研究」(昭和 24 年)との比較 -

- ..... 葛城 照三 (早稲田大学教授)  
欧州貨物交通事情 - B. T. Bayliss 著 "European Transport" の紹介 -  
..... 野村寅三郎 (神戸大学名誉教授)  
ニューヨーク ポート・オーソリティー ..... 増井 健一 (慶応義塾大学教授)  
古記録より見たる古代・中世前期の海商及び海運企業活動  
..... 松本 一郎 (当財団理事)  
H. Sanmann の海運市場論 ..... 鈴木 繁 (立正大学助教授)

#### 第 5 集 (1969 年 / 昭和 44 年 5 月)

- 三十歳を迎えて (1940~1969) ..... 松本 一郎 (当財団理事)  
わが国に於ける造船技術近代化の源流 ..... 加地 照義 (神戸商科大学教授)  
先物長期運賃水準と予想 ..... 下條 哲司 (神戸商船大学助教授)  
1966 年英国港湾法の制定について ..... 織田 政夫 (東京商船大学助教授)  
ドイツ海運史の一断面 - A.バリンとハンブルク・アメリカライン -  
..... 鈴木 孝明 (大東文化大学講師)  
オイディナミッシェビランツの理論的構造 ..... 高木 泰典 (高千穂商科大学講師)

#### 第 6 集 (1970 年 / 昭和 45 年 3 月) - 創立 30 周年記念特集号 -

- 30 周年記念特集号の発刊に際して ..... 山縣 勝見 (当財団理事長)  
海運経済学の成立 ..... 小島 昌太郎 (京都大学・神戸商科大学各名誉教授)  
交通政策とその総合性 ..... 島田 孝一 (早稲田大学名誉教授)  
「外患良好」文句と「中味不知」文句に関する最近の判例について  
..... 小町谷 操三 (東北大学名誉教授)  
国際紛争と海商対策 ..... 石津 漣 (九州産業大学長)  
海運における近代化とその影響 ..... 麻生 平八郎 (明治大学教授)  
国際連絡運輸制度の提唱 ..... 高橋 秀雄 (流通経済大学教授)  
船舶保険普通約款の若干の問題点 ..... 葛城 照三 (早稲田大学教授)  
黄金と国際経済 ..... 関野 唯一 (独協大学教授)  
中世後期地中海・北海海運企業史論究 ..... 松本 一郎 (当財団理事)  
財団法人 山縣記念財団の沿革 ..... 古川 哲次郎 (当財団)

#### 第 7 集 (1971 年 / 昭和 46 年 10 月)

辰馬海運百五十年経営史 資料集 ..... 松本 一郎 (当財団理事)

#### 第 8 集 (1972 年 / 昭和 47 年 5 月)

辰馬海運百五十年経営史  
序 ..... 山縣 勝見 (当財団理事長)

本文…………… 松本 一郎（当財団理事）

### 第 9 集（1973 年／昭和 48 年 6 月）

海運経営における予測・決定・計画へのアプローチ -ベルゲン・セミナーの印象-  
…………… 下條 哲司（神戸商船大学助教授）  
十六世紀東西海上交通時代の海商活動…………… 松本 一郎（当財団理事）

### 第 10 集（1974 年／昭和 49 年 7 月）

十七世紀和蘭海運貿易企業史研究…………… 松本 一郎（当財団理事）  
日本開運企業の油濁責任と保険革新…………… 来住 史郎（日本船舶責任相互保険組合）  
石油危機・船舶関係資料…………… 松本 一郎（前出）

### 第 11 集（1975 年／昭和 50 年 3 月）

我国損害保険会社の保証事業進出について…………… 井筒 亨

### 第 12 集（1975 年／昭和 50 年 10 月）

十六世紀（エリザベス女王時代）十七世紀（クロムウェル時代）英国海運企業史研究  
…………… 松本 一郎（当財団理事）  
食糧危機と海上輸送…………… 高田 富夫（早稲田大学大学院博士課程）

### 第 13 集（1976 年／昭和 51 年 6 月）

17・8 世紀英国東方貿易海運企業史・英国東印度会社海運経営研究  
…………… 松本 一郎（当財団理事）  
英国港湾機構概説…………… 織田 政夫（東京商船大学助教授）

### 第 14 集（1977 年／昭和 52 年 5 月）

故山縣勝見理事長追悼之記…………… 松本 一郎（当財団理事長）  
17・8 世紀前期英国、仏国抗争期における海運企業研究…………… 松本 一郎（前出）  
世界経済の発展と船腹需要 -1950～73 年の構造分析-  
…………… 高田 富夫（当財団研究員）

### 第 15 集（1978 年／昭和 53 年 4 月）

船員の共同雇用制をめぐる若干の問題  
-イギリスの制度を中心にして-…………… 地田 知平（一橋大学教授）  
海運における経済効率 -Goss の論文に寄せて-…………… 東海林 滋（関西大学教授）  
17・18 世紀および 19 世紀初期英仏海運企業史研究補遺  
…………… 松本 一郎（当財団理事長）  
わが国海運国際収支の実証的研究…………… 山岸 寛（東京商船大学助教授）  
15 世紀明時代鄭和・南洋一印度洋航海記 中国語・英語・日本語訳本に就て  
…………… 木下 文和

### 第 16 集 (1979 年 / 昭和 54 年 5 月)

- 故小島・小町谷両評議員追憶の記……………松本 一郎 (当財団理事長)  
英米戦争 (1812 年) 前後海運業研究……………松本 一郎 (前出)  
ルードルフ・ヴァーグナー小伝……………窪田 宏 (神戸大学)  
二大定期船会社の創立 - 郵・商二社の設立課程 - ……………加地 照義

### 第 17 集 (1980 年 / 昭和 55 年 3 月)

- 19 世紀初期アメリカ海運業 太平洋・東洋活動状況の研究  
……………松本 一郎 (当財団理事長)  
南太平洋の大国オーストラリア (Terra Austrails - 豪州) 十九世紀前期の  
貿易海運企業史研究……………松本 一郎 (前出)  
英米の船員雇用制度と雇用調整および技術革新への適応……………山本 泰督 (神戸大学)  
試練に立つ中小船社……………國領 英雄 (神戸商船大学)  
イタリア法上の「仲裁条項」に関する若干の問題 (覚書)……………今井 薫 (駒沢大学)

### 第 18 集 (1981 年 / 昭和 56 年 2 月)

- アフリカ大陸大西洋岸・印度洋岸 海運業研究……………松本 一郎 (当財団理事長)  
嵐の中のわが国同盟船社……………高村 忠也 (神戸大学教授)  
主要経済指標及び海上荷動量の趨勢……………今橋 宏 (山下新日本汽船)  
十九世紀初期 ロシヤ船の日本経由世界周航記について……………松本 一郎 (前出)  
新刊海運史書紹介……………松本 一郎 (前出)  
ナポレオン皇帝敗退後の仏英軍勢力及び経済状況について (コブデン報告に基く資料)  
……………前山 松郎

### 第 19 集 (1981 年 / 昭和 56 年 12 月)

- 創立四十周年を迎えて……………松本 一郎 (当財団理事長)  
コンテナ船海運経営上の諸問題……………前田 義信 (甲南大学)  
スペース・チャーター方式の現代的意義……………窪田 宏 (神戸大学)  
コンテナ国際物流システムの評価……………下條 哲司 (神戸大学)  
コンテナリゼーションと港湾 - その対応と経営状況 -  
……………國領 英雄 (神戸商船大学)  
コンテナ船追悼荷役及び諸設備の合理化について……………三木 楯彦 (神戸商船大学)  
東アジア貿易史研究展望……………杉山 伸也 (ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス)  
希望峰巖頭に立って大航海者を想う……………松本 一郎 (前出)

### 第 20 集 (1982 年 / 昭和 57 年 6 月)

- 古代・中世船商資本の調達について……………松本 一郎 (当財団理事長)  
第二次大戦後におけるアメリカの海勢力 - レイノルズの論文をめぐって -  
……………山本 泰督 (神戸大学)  
独立後のインド経済動向と海運業……………黒沢 一晃 (松蔭女子学院大学)

## 大航海者マゼラン死後－比津賓・太平洋海域の海商活動

- (金銀財宝船の Silver Galleon Fleet 状況) …… 松本 一郎 (前出)
- 資料Ⅰ P.B.ブウシェの (中世海法)「コンソラート・デル・マーレ」のこと (紹介)  
 …… 窪田 宏 (神戸大学)
- 資料Ⅱ アメリカに於ける労働力、構成、賃銀問題の変化と海運業  
 …… 大瀬戸 省作 (京都大学)
- 資料Ⅲ 英国東印度総督ベンチック伝記 (印度洋蒸汽船就航問題) …… I. M.

## 第 21 集 (1983 年／昭和 58 年 3 月)

## 幕末・明治維新における軍艦・商船取得及び外国知識に関する動向について

- …… 松本 一郎 (当財団理事長)
- バルク・カーゴ積み取り調整についての一考察 …… 高村 忠也 (神戸大学)
- 【特別レポート】
- オックスフォードとオックスフォード大学 …… 山田 浩之 (京都大学)
- 【資料】
- ロンドン大学の機構と研究機関 …… 杉山 伸也 (ロンドン大学)
- 1983 年の海上運賃市況は乾油いづれの部門が先に回復に向うかについての一考察  
 (エネルギーコストの競合を視点として) …… 今橋 宏 (神戸マリンターミナル)

## 第 22 集 (1983 年／昭和 58 年 10 月)

- イスパニヤ海運業衰退の過程 …… 松本 一郎 (当財団理事長)
- 清代前期中国・英国間海運貿易研究 …… 松浦 章 (関西大学)
- 韓国船員事情管見 …… 國領 英雄 (神戸商船大学)・陶 怡敏 (神戸大学大学院)
- [資料Ⅰ] 13 世紀アドリア海におけるベネチヤ海上貿易と護衛船について  
 …… 松本 一郎 (前出)
- [資料Ⅱ] ミシェル モラ著「海事史研究」論集 …… 窪田 宏 (神戸大学)
- [資料Ⅲ] マーンリオ コルテラッツオ監集「地中海と印度洋 (第 6 回海事史学会報告)」  
 …… 窪田 宏 (神戸大学)
- [資料Ⅳ] ポルトガル・中国通商海運史資料について  
 －張天澤『中葡通商研究』を中心に－ …… 福田 和則

## 第 23 集 (1984 年／昭和 59 年 3 月)

- 英国航海条例と北米合衆国独立史 …… 松本 一郎 (当財団理事長)
- 「香港」の将来 …… 下條 哲司 (神戸大学教授) 吉田 茂 (神戸商船大学)
- 16-19 世紀の中国・フィリピン間の海上貿易 …… 松浦 章 (関西大学)
- 【紹介】
- 海運投資時機の適合 …… 今橋 宏 (神戸マリンターミナル)

## 第 24 集 (1984 年 / 昭和 59 年 8 月)

18・19 世紀初期支那・アジア南方地域に於ける船商活動

- ..... 松本 一郎 (当財団理事長)
- インドの海運事情と政府の海運助成政策 ..... 黒沢 一晃 (松蔭女子学院大学教授)
- 台湾の海運・造船政策に関する一考察 ..... 陶 怡敏 (神戸大学大学院)
- 【資料】 ..... 松本 一郎 (当財団理事長)
- (1) 老頭児、船長、社長語り草
- (2) 近畿四国、瀬戸内出身船主・船長の人々
- (3) 四国出身社外船主の雄

## 第 25 集 (1985 年 / 昭和 60 年 3 月)

- 古代ギリシア及びローマ時代・海運事業の研究 ..... 松本 一郎 (当財団理事長)
- 近代前の中国海船の資本調達について ..... 松浦 章 (関西大学)
- 「回船大法」フィールド・ノート - 海事社会とその慣習を求めて -  
..... 窪田 宏 (神戸大学)

## 第 26 集 (1985 年 / 昭和 60 年 9 月)

- 中近東トルコ発展期に於ける海運業研究 ..... 松本 一郎 (当財団理事長)
- 北米定期航路の競争と主要船社の対応 ..... 今橋 宏 (神戸マリンターミナル)
- ウェールズ大学と海運の研究 ..... 山岸 寛 (東京商船大学)

## 第 27 集 (1986 年 / 昭和 61 年 2 月)

- 印度洋の海運業史考 ..... 松本 一郎 (当財団理事長)
- 米国駐在の目から見たコンテナ海陸一貫輸送の展開  
..... 山中 洋 (本名：竹ノ内 豊司)
- 欧州海運諸国を訪問して ..... 山岸 寛 (東京商船大学)
- 北欧海運会社の活躍 ..... 今橋 宏 (神戸マリンターミナル)

## 第 28 集 (1986 年 / 昭和 61 年 10 月) (創立四十五周年記念号)

財団法人山縣記念財団発足 45 周年 (実働 40 年) に際して

- ..... 松本 一郎 (当財団理事長)
- 創立 45 周年記念祝賀会挨拶 ..... 松本 一郎 (前出)
- 創立 45 周年記念祝賀会祝辞 ..... 麻生 平八郎 (元明治大学総長)
- 創立 45 周年記念祝賀会乾杯の音頭  
..... 山下 三郎 (山下新日本汽船相談役海事産業研究所理事長)
- 太平洋航路半世紀後・コンテナ船時代の最近の現状を訪ねて  
..... 松本一郎 (前出)

### 【参考文献】

- アメリカ大陸横断鉄道小史及びトラック輸送状況 ..... 松本 一郎 (前出)
- 欧州主要国の海運政策の基調と問題点 ..... 山岸 寛 (東京商船大学)

[資料 I] 世界的石油政策・石油価格の動向に関する IEA (International Energy Agency) 主席理事 Aelge Steeg 氏、及び W. Hopkins 氏の見解 (OECD observer1986-5 月号所載概要)

[資料 II] シンガポール動向・石油に関する最近の統計

[資料 III] 米西海岸に於て鉄道とコンテナの連結進む

[資料 IV] 1984 年米国海運法

財団年表

### 第 29 集 (1987 年/昭和 62 年 3 月)

南太平洋航路配船半世紀…………… 松本 一郎 (当財団理事長)

中国・唐栄時代及び古代ギリシャの海上取引賃借について…………… 松本 一郎 (前出)

オフショア登録と船舶管理業…………… 山岸 寛 (東京商船大学)

日清戦争前における日本海運の近海進出 - 領事報告に見る諸相 -

…………… 片山 邦雄 (神戸商科大学商経学部)

ソ連海運の概況…………… 杉崎 恒雄 (東洋共同海運)

【付属資料】 I ソビエト海運政策の変更

II ソ連海運の脅威は誇張されている

### 第 30 集 (1987 年/昭和 62 年 9 月)

明治 20 年代中期の航路拡張論 - 『日本海運論』を中心として -

…………… 片山 邦雄 (神戸商科大学)

交通業の垂直型多角化の戦略的意義…………… 吉田 茂 (神戸商船大学)

印度海運造船の現況…………… 近藤 美作 (本名: 亘 延繁 元山下新日本汽船)

ソ連の海運の現況…………… 杉崎 恒雄 (東洋共同海運)

【資料】

香港 World Wide の動静

### 第 31 集 (1988 年/昭和 63 年 3 月)

オフショア海運とコスト分析…………… 山岸 寛 (東京商船大学教授)

Intermodal Competition におけるセカンド・ベスト価格

…………… 吉田 茂 (神戸商船大学助教授)・橋本 健司 (神戸商船大学大学院生)

中国廣州事情…………… 三ツ井 光晴 (神戸商科大学助教授)

### 第 32 集 (1988 年/昭和 63 年 9 月)

現代の外航海運像…………… 織田 政夫 (東京商船大学教授)

海運業の成長構造…………… 高田 富夫 (名古屋学院大学経済学部教授)

海運企業における戦略的課題 - 日本海運企業を中心に -

…………… 吉田 茂 (神戸商船大学助教授)

### 第 33 集 (1989 年 / 平成元年 6 月)

- 現今内航海運市場の特殊相 …………… 國領 英雄 (神戸商船大学教授)  
海運費用の構造とマンニング・コストの特殊性 …………… 山岸 寛 (東京商船大学教授)  
運輸業における情報ネットワークシステム …………… 吉田 茂 (神戸商船大学助教授)  
イギリス法「1930 年第三当事者法 (保険者に対する権利)」にもとづく、  
P&I クラブに対する直接請求に関する若干の問題 – 控訴審判決を事例として –  
…………… Capt. K. Saito (日本船主責任相互保険組合)

### 第 34 集 (1989 年 / 平成元年 12 月)

- EC 船籍 (EUROS) の設立に関するパッケージ案の概要  
…………… 織田 政夫 (東京商船大学教授)  
市況予測と海運循環 …………… 國領 英雄 (神戸商船大学教授)  
海運の構造転換とフラッキング・アウト対策 – 英国海運を中心として –  
…………… 山岸 寛 (東京商船大学教授)  
海上輸送の技術進歩と海運産業の規模 …………… 高田 富夫 (名古屋学院大学教授)  
交通企業の組織構造 …………… 吉田 茂 (神戸商船大学助教授)

### 第 35 集 (1990 年 / 平成 2 年 6 月)

- 内航船員問題の現状分析と若干の試論 …………… 織田 政夫 (東京商船大学教授)  
米国海運政策考 – 続・船舶建造融資保証制度 –  
…………… 國領 英雄 (神戸商船大学教授)  
船舶管理の需給構造と経済現象 …………… 山岸 寛 (東京商船大学教授)  
交通業の規制緩和とその効果 …………… 吉田 茂 (神戸商船大学助教授)

### 第 36 集 (1990 年 / 平成 2 年 12 月)

- 定期船会社の企業行動と市場の特殊性 …………… 山岸 寛 (東京商船大学教授)  
海上輸送市場の活動分析型生産関数 – 生産関数による技術進歩分析序説 –  
…………… 高田 富夫 (名古屋学院大学教授)  
「I.T.F./FOC キャンペーンと米国海運法第 10313 条 (46USC § 10313)」  
– アメリカ判例“Fareast Trader”号事件 (1989AMC2721) を事例として –  
…………… Capt. K. Saito (日本船主責任相互保険組合)

### 第 37 集 (1991 年 / 平成 3 年 6 月)

- 途上国船員の労務管理 …………… 山本 泰督 (神戸大学教授)  
韓国海運見聞記 …………… 織田 政夫 (東京商船大学教授)  
フラッキング・アウトの構造とその受入れ国の経済的役割  
…………… 山岸 寛 (東京商船大学教授)  
ローマ条約競争規定と海運のコンソーシアム – 一括適用除外問題を中心として –  
…………… 松本 勇 (長崎県立大学教授)



**第 38 集 (1991 年／平成 3 年 12 月)**

物流政策のなかの内航海運 – モーダルシフトの可能性をめぐって –

…………… 國領 英雄 (神戸商船大学教授)

国際海運の構造転換とその現代的特質…………… 山岸 寛 (東京商船大学教授)

海運経済のインハウスデータベース – 一つの統合型管理システムの提案 –

…………… 高田 富夫 (名古屋学院大学教授)

海運企業における事業の多様化と成長性…………… 吉田 茂 (神戸商船大学助教授)

**第 39 集 (1992 年／平成 4 年 6 月)**

日本人船員保有の必要性とフィービリティ…………… 山本 泰督 (神戸大学教授)

海運市況の循環構造…………… 國領 英雄 (神戸商船大学教授)

第 3 型海運の存立意義と政策的実践 – スカンジナビア諸国を中心として –

…………… 山岸 寛 (東京商船大学教授)

複合一貫輸送と EC 競争規定の適用除外…………… 松本 勇 (長崎県立大学教授)

**第 40 集 (1992 年／平成 4 年 12 月)**

国際交通業の産業組織の変質 – 規制緩和政策の実証分析 –

…………… 宮下 國生 (神戸大学教授)

先進国の海運の再建と問題点 – ギリシャ海運を中心として –

…………… 山岸 寛 (東京商船大学教授)

海運経済数量分析のためのコンピュータソフトウェア

– データベース構築の方法と数量分析のサンプルスタディ (1) –

…………… 高田 富夫 (名古屋学院大学教授)

**第 41 集 (1993 年／平成 5 年 6 月)**

国際運輸労連の TCC 協約とベンチマーク…………… 山本 泰督 (神戸大学教授)

長距離フェリーのネットワーク形成と効果…………… 國領 英雄 (神戸商船大学教授)

コアの理論の海運市場分析への適用 – Pirrong 論文の紹介と検討 –

…………… 杉山 武彦 (一橋大学教授)

海運経済数量分析のためのコンピュータソフトウェア

– データベース構築の方法と数量分析のサンプルスタディ (2) –

…………… 高田 富夫 (名古屋学院大学教授)

**第 42 集 (1993 年／平成 5 年 12 月)**

草創期の海運計量分析 – 故松本一郎氏の先駆的業績を偲ぶ –

…………… 下條 哲司 (甲南大学理学部経営理学科教授)

海運政策の限界 – 若干の海運政策論の検証 –…………… 織田 政夫 (東京商船大学教授)

海運サービスにおける品質管理の国際規格…………… 山岸 寛 (東京商船大学教授)

EC 海運競争規定と欧州ゾーンチャージ…………… 松本 勇 (長崎県立大学教授)

**第 43 集 (1994 年 / 平成 6 年 6 月)**

- JSU/AMOSUP 労働協約について ..... 山本 泰督 (神戸大学名誉教授)  
海上輸送の誘導のための一つの試算 ..... 國領 英雄 (神戸商船大学教授)  
オープン登録の意義と検証 ..... 山岸 寛 (東京商船大学教授)  
港湾施設の価格形成 - T. J. Dowd 論文の紹介および検討 -  
..... 杉山 武彦 (一橋大学教授)

**第 44 集 (1995 年 / 平成 7 年 11 月)**

- 中国の市場開放と海運活動 ..... 山岸 寛 (東京商船大学教授)  
海運のコンソーシアム協定に対する一括適用除外規則 870/95 の行方  
..... 松本 勇 (長崎県立大学教授)  
国際海運における伝統的の海運国の位置に関する一考察  
..... 高田 富夫 (名古屋学院大学教授)

**第 45 集 (1997 年 / 平成 9 年 1 月)**

- 海運諸問題の始発的動因としての国内環境条件  
..... 織田 政夫 (東京商船大学教授)  
国際物流業のサービス差別化戦略 - ロジスティクス・システム革新への対応 -  
..... 宮下 國生 (神戸大学教授)  
EU 海運政策と競争法 - その政策目的と競争法の運用 -  
..... 松本 勇 (長崎県立大学教授)

**第 46 集 (1997 年 / 平成 9 年 11 月)**

- 海上安全とポートステート・コントロール  
..... 織田 政夫 (流通経済大学教授・東京商船大学名誉教授)  
アジアの対米物流構造の機能メカニズム ..... 宮下 國生 (神戸大学教授)  
わが国海運の再建と国際船舶制度の創設 ..... 山岸 寛 (東京商船大学教授)  
需給調整規制の廃止と離島航路政策に関する一考察  
..... 松本 勇 (長崎県立大学教授)

**第 47 集 (1998 年 / 平成 10 年 10 月)**

- 海運産業の成長と存続の条件  
..... 織田 政夫 (流通経済大学教授・東京商船大学名誉教授)  
アジア物流と日本の拠点港湾の行動メカニズム ..... 宮下 國生 (神戸大学教授)  
EU におけるフラッキング・アウトの動向と海運助成策  
..... 山岸 寛 (東京商船大学教授)  
中国海運業と海運政策のあり方  
..... 吉田 茂 (神戸商船大学教授)・全 賢淑 (大連海事大学院生)

**第 48 集 (1999 年／平成 11 年 10 月)**

国際運輸労連 (ITF) の FOC キャンペーンについて

—労働組合の国際的連帯とその課題—…………… 山本 泰督 (南大阪大学)  
 わが国における為替変動と海運企業の経営行動

…………… 山岸 寛 (東京商船大学教授)・詹 詠梅 (ワールドマリン(株))  
 日本海運業の競争力形成とその変容 —定期船海運を中心にして—

…………… 吉田 茂 (神戸商船大学)  
 国際定期船海運のコンソーシアムに対する委員会規則第 870/95 の改正とその問題点

…………… 松本 勇 (長崎県立大学教授)

**第 49 集 (2000 年／平成 12 年 10 月) (財団設立 60 周年記念号)**

～はじめに～ 当財団創立六十周年の節目に想う…………… 一樋 宥利 (当財団理事長)

海運経済学からの知的派生物…………… 下條 哲司 (大阪産業大学教授)

東アジア発展回廊としての海上輸送システム…………… 國領 英雄 (大阪産業大学教授)

アジアの対米物流構造とロジスティクス戦略拠点の構築  
 ……………… 宮下 國生 (神戸大学教授)

競争優位とロジスティクス…………… 高田 富夫 (流通経済大学教授)

日本籍船問題をめぐる外航海運政策の理論的検証  
 ……………… 澤 喜司郎 (山口大学経済学部教授)

**第 50 集 (2001 年／平成 13 年 10 月)**

わが国経済の蘇生と復活の道は? ～「門外漢」としての素朴な疑問と着想～

…………… 一樋 宥利 (当財団理事長)  
 東京商船大学における物流教育…………… 杉崎 昭生 (東京商船大学学長)

ターミナル文化の歴史と環境  
 ……………… 北見 俊郎 (青山学院大学名誉教授・北見港湾総合研究所長)

海事クラスターの概念とその周辺 ～概念と産業政策上の意義についてのノート～  
 ……………… 杉山 武彦 (一橋大学教授)

サブスタンダード船はなくなるか ～船舶海難防止の取組に関する一考察～  
 ……………… 織田 政夫 (流通経済大学教授)

**第 51 集 (2002 年／平成 14 年 10 月)**

“インフラストラクチャー”関連事業に於る「公共性・公益性」と「民営化」の撞着について

～「官民共同」と「民活」とのさらなる融合の道を～…………… 一樋 宥利  
 海事社会における人材育成 ～これからの神戸商船大学～…………… 原 潔

CENSA (欧州・日本船主協会評議会) 38 年の歴史と JSA (日本船主協会) (1)

～民間国際海運調整機関が国際定期船海運政策に与えた影響～  
 ……………… 松本 勇・赤塚 宏一

米国シーランド社の企業行動とその史的展開…………… 山岸 寛

### 第 52 集 (2003 年 / 平成 15 年 11 月)

戦後日本海運業の自立と海運政策 ～企業集中を中心とした戦後日本海運史の一節～ .....	地田 知平
アジアにおける海上交通の安全確保のための国際協力について ～マラッカ海峡をめぐる最近の海洋法問題から～ .....	栗林 忠男
東アジアにおけるアライアンス形成前後のコンテナルートネットワーク構造の 変化について .....	吉田 茂・金 広熙
参考メモ “想春だより” (第 1 号～第 11 号) 目次総括 .....	一樋 宥利

### 第 53 集 (2004 年 / 平成 16 年 11 月)

【特別寄稿】	
株式市場から見た海運業界 .....	尾坂 拓也
【海運の歴史】	
日本海運の高度成長の成果 .....	地田 知平
【海運の直面する課題】	
わが国内航海運の現状 .....	織田 政夫
わが国外航商船の第二船籍制度 .....	山岸 寛
【新しい視点から】	
国際経済環境の変化とわが国外航定期船海運業における水平的企業結合の形成： 事例研究とソロー残差の計測をふまえて .....	遠藤 伸明
港の世界：人間と教育 ～若者の人材育成事情とその課題に関連して～ .....	富田 功
多地域応用一般均衡モデルによる貿易予測と海運政策の影響評価 .....	石黒 一彦
【追悼】 故前田義信先生を悼む .....	下條 哲司

### 第 54 集 (2005 年 / 平成 17 年 12 月)

【特集】	
若き海運研究志望者へ (復刻) .....	佐波 宣平
【特別寄稿】	
「子供達に海と船を語る」企画について .....	池上 武男
石油危機後の日本海運 ～企業集中に向かって～ .....	地田 知平
Globalization と船舶融資 ～計画造船から貿易物資安定供給融資へ～ .....	原田 輝彦
海事社会の基盤整備 ～主として海技技術者に関する人材基盤～ .....	杉崎 昭生
海事教育の歴史と変遷 ～これからの人材育成の行方～ .....	井上 欣三
港湾の部分的な民営化が港湾管理に与えた影響 ～ランドロード型港湾における公共部門の役割～ .....	寺田 英子
太平洋戦争期の船舶運航と港湾 .....	古川 由美子

### 第 55 集 (2006 年 / 平成 18 年 12 月)

序文 .....	宮都 讓
----------	------

## 【特集】

心の師（炉辺夜話 第一話、復刻掲載）…………… 山縣 勝見

## 【特別寄稿】

21 世紀の海洋政策…………… 寺島 紘士

石油危機後の定期船業の不況－企業集中への動因 ～「戦後日本海運史」終章～

…………… 地田 知平

中国の経済動向と海運への影響 ～中国特需が海上荷動き・船舶需給等に及ぼす影響～

…………… 長塚 誠治

パイプラインは海運にいかなる影響を及ぼすか ～ロシアの原油パイプラインを巡って～

…………… 松尾 泰彦

航海用船、定期用船および金融先物取引における価格形成…………… 手塚 広一郎

ロジスティクス管理におけるネットワークの構築…………… 高田 富夫

日本港湾の「国際競争力」とは何か ～日本湾港の機能集積の方向性～

…………… 津守 貴之

韓国海運政策をめぐる最近の動向に関する一考察…………… 尹 宋漢

## 【文献紹介】

『海運造船ニュース解説』の利用の手引き…………… 米田 博

## 第 56 集（2007 年／平成 19 年 11 月）

序文…………… 宮都 讓

## 【特集 I】

氷川丸の生涯…………… 竹野 弘之

## 【特集 II】

神戸港競争力復活へのシナリオ ～神戸港開港 140 年に想う～…………… 稲垣 哲

諸外国及び日本におけるトン数標準税制の動向に関する考察…………… 浅井 俊一

キャリア船員の重要性とキャリア・パス・スキームに関する一考察

…………… 赤塚 宏一・井上 欣三

膨らむ中国コンテナと港湾拡張 ～長江・珠江 2 大デルタの発展戦略～…………… 三浦 良雄

江戸期における物流システム構築と都市の発展衰退…………… 苦瀬 博仁

戦中・戦後における喪失商船…………… 大井田 孝

クルーズ客船における船型効果…………… 下條 哲司

## 第 57 集（2008 年／平成 20 年 11 月）

序文…………… 宮都 讓

## 【特別寄稿】

海洋少年団活動について ～海洋教育を通じ青少年の育成～…………… 青木 稔

船舶解撤業と環境 ～印度の試み～…………… 合田 浩之

海賊の変遷…………… 山田 吉彦

海運同盟独占禁止法適用除外問題の行方…………… 石黒 行雄

日本企業のグローバル・ロジスティクス・マネジメント展開…………… 林 克彦

LNG 海上輸送の今後の展開	森 隆行
海貨業の現状と課題－総合物流業へ向けて	鈴木 暁
戦後経済の流れと港湾政策の検討（前編・1982 年まで）	柴田 悦子
追記・訂正	

### 第 58 集（2009 年／平成 21 年 12 月）

序文	宮都 讓
----	------

#### 【特集】

港都横浜の 150 年 ～関東大震災を境に変質した固有の港湾文化～	小林 照夫
21 世紀の海洋教育とは ～海洋基本法制定後の海洋教育に関する提案～	酒井 英次
Comparative analysis of statistical and fuzzy integrated time series and judgmental forecasting : an empirical study of forecasting dry bulk shipping index （日本語訳）統計・ファジー統合型時系列予測と意思決定型予測の比較研究 ～ドライバルク運賃指数の予測に関する実証分析～	オカン・ドゥル・吉田 茂
海運企業のグローバル・オペレーションを支える組織の分析	星野 裕志
港湾競争力に関する考察	二村 真理子
国際法における海賊行為の定義	逸見 真
女性海賊史序説 ～18 世紀カリブ海の世界におけるジェンダー研究～	
	石田 依子
戦後経済の流れと港湾政策の検討（後編・1983 年以降）	柴田 悦子

#### 【追悼】

下條哲司先生を悼む	吉田 茂
-----------	------

### 第 59 集（2010 年／平成 22 年 12 月）

序文	田村 茂
北極海における船舶の運航と環境保全	北川 弘光
新シーマンシップ考	杉崎 昭生
海技の実践における法的思考の活用 ～暗黙知的海技の克服のための一手法～	
	逸見 真
環境に優しい交通の担い手としての内航海運・フェリーに係る規制の在り方について ～カボタージュ規制と環境対策を中心に～	長谷 知治
国内貨物輸送の外部費用の推定 ～普通貨物自動車と RORO 船・コンテナ船の外部費用の比較～	鈴木 裕介
日本の港湾政策に関する一考察	松尾 俊彦
現代中国港湾の再編成とその問題点	姜 天勇

### 第 60 集（2011 年／平成 23 年 12 月）

序文	田村 茂
----	------

#### 【特集】

東日本大震災と内航海運	藤井 英男
-------------	-------

## 【特別寄稿】

東日本大震災による海事諸事情の法的解釈について

…………… William A. Howard (翻訳：田中 庸介、手塚 祥平、平良 夏紀)

米国における油濁による損害賠償・損害評価の動向

～エクソン・ヴァルディーズ号事件連邦最高裁判所判決の射程～…………… 新井 真  
 仕組船の概念の歴史的変遷…………… 合田 浩之  
 先進国型シップリサイクル（室蘭プロジェクト）の構築にむけて…………… 清水 一道  
 北九州市の静脈産業…………… 古井 恒  
 内航商船に対するウェザー・ルーティングについて…………… 高嶋 恭子  
 韓国内航海運におけるカボタージュ規制の動向…………… 李 志明  
 英法における被保険危険による損害の研究…………… 小路丸 正夫  
 Charter Base の変化とその活用について…………… 坂本 久

## 第 61 集（2012 年／平成 24 年 11 月）

序文…………… 田村 茂  
 わが国の海上保険の現状の課題と進むべき方向性…………… 中出 哲  
 海賊対処法の意義と課題…………… 甲斐克則  
 民間海上警備会社（PMSC）に対する規制とその課題  
 - 海賊対策における銃器使用の検討を中心に -…………… 瀬田 真  
 Hire Base の構成要素とそのリスクについて…………… 荒井 徹  
 離島航路を巡る環境変化と政策…………… 長谷 知治  
 違法停泊船と航走船との衝突に関する一考察…………… 南 健悟  
 油濁による環境損害を通じた経済的損失の考察…………… 新井 真

## 第 62 集（2013 年／平成 25 年 11 月発行）

序文…………… 小林 一夫  
 学校教育における海洋教育普及の具体的方策 - 次期学習指導要領の改訂に向けて -  
 ……………… 酒井 英次  
 日本における国連海洋法条約の実施…………… 鶴田 順  
 船籍国と船級協会…………… 合田 浩之  
 国際法による船員の保護 - 外交的保護と旗国主義 -…………… 逸見 真  
 東アジア船社の企業価値分析と日本船社の M&A のシナジー効果分析  
 ……………… 崔 擎榮煥・吉田 茂  
 わが国の強みを活かすコンテナ・ターミナル整備の充実  
 - 自動化ターミナルへの革新を中心として -…………… 恩田 登志夫  
 管理形態の違いが日本のコンテナ港湾の効率性に与える影響  
 - DEA（包絡分析法）を用いた研究 -…………… 湯 莎莎・寺田 一薫  
 中国における港湾建設の現状と課題…………… 徐 佳鋭・高田 富夫  
 ポルトガルにおける大航海時代の海上保険と日本…………… 若土 正史

海運から見たリーマンショック後の中国を中心とした景気対策の限界と問題点

..... 轟木 保廣  
Deviation C/B という考え方について..... 坂本 久

**第 63 集 (2014 年 / 平成 26 年 11 月発行)**

序文..... 小林 一夫

**【指定テーマ 北極海航路】**

北極海航路におけるハブポートの考察－ノルウェー・ロシアの事例から－..... 合田 浩之

**【特別寄稿】**

東日本大震災から「南海トラフ巨大地震」への備えと BCP を考える..... 斎藤 吉則

内航コンテナ輸送の拡大に関する一考察

－西日本における内航フィーダー輸送を中心として－..... 松尾 俊彦・永岩 健一郎

港湾施設の損傷と港湾利用者の法的責任に関する一試論..... 南 健悟

日本の港湾に関するセキュリティ対策－制限区域（水域）の現状と問題点－

..... 松本 宏之

海運・海洋に関するリスク管理－有事に係る保険を事例に－..... 長谷 知治

**【提言】**

小型船舶の衝突海難防止のための特別規定に関する提言..... 藤本 昌志

**【研究報告】**

中国鉄道コンテナ輸送の発展とユーラシア・ランドブリッジの新展開..... 福山 秀夫

**【研究報告】**

日本の海運業における外国人船員の採用システム

－日本企業とフィリピン人船員の新卒労働市場－..... 寒河江 芳美

**第 64 集 (2015 年 / 平成 27 年 12 月発行)**

序文..... 小林 一夫

**【指定テーマ 災害時における船舶利用】**

災害時における船舶活用..... 井上 欣三

**【指定テーマ 海事産業における女性の活躍推進】**

海事産業における女性の活躍の推進..... 北田 桃子

わが国外航海運における女性船員の雇用－何故、女性船員の雇用は伸びないのか－

..... 逸見 真

海事クラスターの歴史分析..... 上野 絵里子・本岡 宏子・松田 琢磨

不確実性下の海運市場の価格形成に関する研究動向とその課題

..... 手塚 広一郎・石井 昌宏

感染症の制御における海港検疫と海運の位置－海上交通の安定を視座として－

..... 大河内 美香

排他的経済水域における「海洋の科学的調査」

－沿岸国による「海洋の科学的調査」規制法の執行可能性に焦点をあてて－

..... 鶴田 順



港湾労働政策の変遷とその課題に関する一考察 - 港湾労働法制定後 50 年を迎えて -

..... 恩田 登志夫

【判例評釈】

英国海上保険詐欺請求をめぐる最近の動向に関する一考察

- 「詐欺的手段」の利用を中心として - ..... 王 学士

【研究報告】

保険記録簿から見たポルトガルのインド航路の海上保険について ..... 若土 正史

第 65 集 (2016 年 / 平成 28 年 12 月発行)

序文 ..... 小林 一夫

愛媛県海事クラスターにおける集積効果とその発展について ..... 本岡 宏子

海運事業者におけるダイバーシティ効果の実証研究 ..... 松本 守

小型内航船の課題と内航海運業界の構造問題 ..... 松尾 俊彦

日本へのクルーズ客船の寄港とカボタージュ規制 ..... 水野 英雄

ギニア湾の海賊対策 - 国際協力と課題 - ..... 神田 英宣

食品輸入に関する他法令規制と港湾の検査機能 ..... 鈴木 暁

ロジスティクスからみた災害時の緊急支援物資供給と BCP の課題 ..... 苦瀬 博仁

【特集：山縣記念財団創始者 山縣勝見没後 40 年記念記事】

山縣勝見の生涯～サンフランシスコ講和会議まで～ ..... 当財団ホームページから

日本経済の復興と海運再建の重要性 ..... 山縣 勝見

第 66 集 (2017 年 / 平成 29 年 12 月発行)

序文 ..... 郷古 達也

【指定テーマ 1 日本にとって「海運」とは何か?～海事クラスターからの検討～】

《招待論文》産業の集積とイノベーション ..... 星野 裕志

【指定テーマ 2 神戸港・大阪港開港 150 年】

《研究論文》神戸市の海事部門における集積の経済の検証 ..... 堂前 光司・松本 秀暢

《研究ノート》開港後の神戸の気象観測と海洋気象台 ..... 井上 篤次郎

《研究ノート》神戸開港 150 年記念事業を終えて - 神戸港のさらなる発展に向けて -

..... 出口 幸治

【指定テーマ 3 海運業界の環境対応】

《研究ノート》バラスト水管理条約の発効と今後の課題 ..... 水成 剛

【自由テーマ】

《招待論文》北極海航路の運航実務と技術的課題 - 氷を知り氷に挑む -

..... 大貫 伸

《研究論文》国際フィーダー輸送の拡大に伴うトラック輸送の軽減に関する研究

..... 永岩 健一郎

《研究論文》核燃料海上輸送の安全管理と無害通航権

- 技術基準と権利義務内容の変化 - ..... 大河内 美香

《研究論文》無人船舶の航行と海上衝突予防法 ..... 南 健悟

〈研究論文〉係争海域内での海洋の科学的調査

－ 第三国による実施に伴う課題を中心に－ …… 下山 憲二

〈現地調査報告〉イシブラスがブラジルに残したもの

－ ブラジル日本合弁造船事業の結果検証－ …… マリレイア・イノウエ・米田 清

※〈研究論文〉は、査読付き論文です。

第 67 集 (2018 年 / 平成 30 年 12 月発行)

序文 …… 郷古 達也

【指定テーマ 1 海運・港湾と地方創生】

〈研究論文〉地方港湾への外航クルーズ客船の寄港による地方創生 …… 水野 英雄

北九州港ひびきコンテナターミナルに寄港したクルーズ船の船員の観光行動の規定要因

－ Norwegian Joy と Costa Serena の事例から－ …… 亀山 嘉大・佐伯 直克

〈研究ノート〉愛媛県と大分県を結ぶフェリー航路を活用した地域振興

－ 大分県臼杵市の事例を中心に－ …… 行平 真也

【指定テーマ 2 海事教育の現場から】

〈研究論文〉小学校社会科における海運教育の変遷と今後の課題 …… 木村 博一

〈活動報告〉海洋国家日本の社会科の在り方を問う

－ 「世界につながる尾道糸崎港」授業紹介－ …… 村上 忠君

海上輸送の役割や可能性を追究する単元の開発

－ 中学校社会科・地理的分野における授業実践を通して－ …… 郡司 直孝

持続可能な開発のための教育 (ESD) としての海洋教育の推進

－ 世界文化遺産「三池港」を中心とした学習カリキュラムの作成と実践を通して－

…………… 古賀 正広

南陽市海洋キャリア教育セミナーの報告－内陸部での海洋教育の導入と実践－

…………… 後藤 祐希・猪野 忠

【自由テーマ】

〈研究論文〉海洋プラットフォームの周辺海域における航行の自由

－ オーストラリア北西方海域を事例として－ …… 神田 英宣

日本の海運に係る環境政策の策定過程とその対応

－ 地球温暖化対策及び大気汚染対策に係る科学的知見の活用を中心に－

…………… 長谷 知治

〈研究ノート〉共同海損法の日中台比較 …… 高橋 孝治

執筆者紹介

山縣記念財団からのお知らせ

第 67 集指定テーマ「海事教育の現場から」抜き刷り (2019 年 / 平成 31 年 2 月発行)

第 68 集 (2019 年 / 令和元年 12 月発行)

序文 …… 郷古 達也

白鹿記念酒造博物館所蔵品の一例 (画像)

【指定テーマ1 江戸期以降の海上輸送・物流史】

＜研究論文（査読付き）＞ 幕末期上方酒造家の廻船所有

—酒荷の積荷動向と運用の分析を通して—…………… 大浦 和也

＜研究ノート＞ 江戸の町は船で造られ船で発展した

—徳川三代の江戸湊整備と生活物資の輸送—…………… 谷 弘

全国に残る加賀北前船主の遺産と4大船主の活躍…………… 見附 裕史

辰馬汽船会社の台湾航路への参入…………… 松浦 章

【指定テーマ2 自律運航船技術の開発進展状況について】

＜招待論文＞自動運航船の実現とリスクへの対応…………… 羽原 敬二

＜研究ノート＞自律運航船技術の国内外の開発進展状況について…………… 丹羽 康之

【自由テーマ】

＜研究論文（査読付き）＞上海発着日本寄港航路におけるクルーズ客船利用者の意向分析

…………… 川崎 智也・花岡 伸也

海上衝突予防法39条の「船員の常務」の法的解釈について

—海難審判裁決取消請求判決から見た検討—…………… 三好 登志行・藤本 昌志

船舶衝突事件における裁判所と専門家の協働

—イギリスにおける nautical assessors に関する議論と日本法への示唆—

…………… 南 健悟

＜研究ノート＞内航 RORO/フェリーモーダルシフトの可能性と課題

…………… 渡邊 壽大・松田 琢磨

執筆者紹介

山縣記念財団からのお知らせ

## (資料 2) 山縣記念財団による主要出版図書の紹介

当財団は、その事業の一環として、海事関係図書の刊行を行ってきました。

- 山縣勝見著『風雪十年』  
1959 年（昭和 34 年）12 月
- 松本一郎著『海運経営と運賃の研究』  
1962 年（昭和 37 年）3 月
- Katsumi Yamagata “Ten Years of Wind and Snow”（『風雪十年』英語訳）  
1965 年（昭和 40 年）3 月
- 下條哲司還暦記念随想集『海運研究者の苦笑』  
1990 年（平成 2 年）8 月
- 國領英雄・吉田茂 編『下條哲司博士還暦記念論文集』  
1991 年（平成 3 年）8 月
- 佐波宣平 著（遺稿）前田義信 編『海事用語根源』  
1992 年（平成 4 年）1 月
- 片山邦雄・吉田茂 編『現代海運をめぐる諸問題～國領英雄教授還暦記念論文集～』  
1994 年（平成 6 年）3 月
- 山岸寛・寺田一薫 編『海運の今日的諸問題～織田政夫博士還暦記念論文集～』  
1995 年（平成 7 年）3 月
- 吉田茂 著『現代日本海運業研究』  
1997 年（平成 9 年）5 月
- 寺田一薫・遠藤伸明 編『国際海運と国際物流の新地平～山岸寛教授退任記念論文集～』  
2005 年（平成 17 年）11 月
- 下條哲司喜寿記念随想集 『海運研究者の流転人生』  
2007 年（平成 19 年）8 月
- 沖川守著『紺碧の海～マリンエンジニアの足跡～』  
2010 年（平成 22 年）9 月
- 田村茂編著『海、船、そして海運—わが国の海運とともに歩んだ山縣記念財団の 70 年—』  
2012 年（平成 24 年）9 月初版、2018 年（平成 30 年）6 月第二版
- 山縣記念財団編『海想～海運業界の思い出話集～』  
2013 年（平成 25 年）7 月
- 山岸寛著 『海運 70 年史』  
2014 年（平成 26 年）7 月
- 高田富夫著『ロジスティクス管理の方法』  
2017 年（平成 29 年）3 月
- 逸見真編著『船長職の諸相』  
2018 年（平成 30 年）3 月

## (資料 3) 「山縣勝見賞」 歴代受賞者

年	著作賞	論文賞	功労賞	
2008 年 平成 20 年	宇佐美昇三著 『笠戸丸から見た日本—したたかに生きた船の物語』 (海文堂出版)	石黒行雄著 「定期船海運の法政策に関する比較研究—海運の公共性から見た競争法適用除外の擁護—」	地田知平 (一橋大学名誉教授 青山学院大学名誉教授)	
2009 年 平成 21 年	中村眞澄氏監修 『最新海事判例評釈第Ⅲ巻』 商船三井海法ゼミナール編 (早稲田大学海法研究所)	逸見真著 「便宜置籍船論」 (信山社出版)	北見俊郎 (青山学院大学名誉教授 北見港湾総合研究所代表)	
2010 年 平成 22 年	宮本三夫著 『太平洋戦争 喪われた日本船舶の記録』(成山堂書店)	新井真著 「自然資源損害賠償と懲罰的損害賠償の接点: エクソン・バルディーズ号事件を契機とした米国の動向とわが国における射程」	戸田修三 (中央大学名誉教授)	
2011 年 平成 23 年	該当なし	長谷知治著 「環境に優しい交通の担い手としての内航海運・フェリーに係る規制の在り方について—カボタージュ規制と環境対策を中心に」 (山縣記念財団『海事交通研究』2010 年第 59 集掲載)	柴田悦子 (大阪市立大学名誉教授)	
2012 年 平成 24 年	木村栄一、大谷孝一、落合誠一編 『海上保険の理論と実務』 (弘文堂)	榎本啓一郎著 「航海備船契約における混船のリスクなど」合計 3 論文 (『海事法研究会誌』2012 年 2 月号掲載)	織田政夫 (東京商船大学名誉教授)	
2013 年 平成 25 年	瀬野克久著 『船舶融資取引の実務』 (日本海運集会所)	瀬田真著 「民間海上警備会社 (PMSC) に対する規制とその課題 ~ 海賊対策における銃器使用の検討を中心に~」 (山縣記念財団『海事交通研究』2012 年第 61 集掲載)	山岸寛 (東京海洋大学名誉教授)	
年	著作賞	論文賞	功労賞	特別賞 (2014 年創設)
2014 年 平成 26 年	武城正長著 『便宜置籍船と国家』 (大阪商業大学 比較地域研究所 研究叢書第 13 巻 御茶の水書房)	該当なし	宮下國生 (関西外国語大学 外国語学部教授、 神戸大学名誉教授)	(一社) 日本船長協会 「子供達に海と船を語る (船長、母校に帰る) 事業 及び 竹田 いさみ著 『世界史をつくった海賊』 及び『世界を動かす海賊』 (ちくま新書)
2015 年 平成 27 年	大坪新一郎・加藤光一・ 仲條靖男・成瀬健共編著 『シップリサイクル条約 の解説と実務』 (成山堂書店)	鈴木理沙著 「定期船・不定期船を対象とした外航海運における CO2 排出量の削減策の検討に関する研究」 (東京海洋大学大学院 海洋科学技術研究科・応用 環境システム学専攻・博士 学位論文)	杉山武彦 (運輸政策研究所所長、 一橋大学名誉教授、 元学長)	(公財) 日本殉職船員 顕彰会 (戦争等による殉職船員の慰霊とその功績を伝える事業に対して)

年	著作賞	論文賞	功労賞	特別賞
2016 年 平成 28 年	(株) 日本海洋科学著、 関根博監修 『実践航海術』 (成山堂書店)	旭聡史著 「海上物品運送人の定額 賠償制度に関する研究」 (早稲田大学大学院法学 研究科 博士学位論文)	井上欣三 (神戸大学名誉教授)	氷川丸ものがたり 製作委員会(代表: かまくら春秋社社長 伊藤玄二郎) 製作 長編アニメ映画 「氷川丸ものがたり」  及び  森隆行著 『神戸港 昭和の記憶 仕事×ひと×街』 (神戸新聞総合出版 センター)
2017 年 平成 29 年	木原知己著 『船舶金融論－船舶に 関する金融・経営・法の 体系－』 (海文堂出版)	西崎ちひろ著 「見張り作業における操 船者の状況認識と見張り 支援に関する研究」 (東京海洋大学大学院 海洋科学技術研究科応用 環境システム学専攻博士 学位論文)  及び  若土正史著 「大航海時代におけるポ ルトガル「インド航路」の 海上保険の活用について」 (神戸大学大学院経済学 研究科経済学専攻博士学 位論文)	國領英雄 (神戸商船大学名誉教授、 大阪学院大学名誉教授)	該当なし
2018 年 平成 30 年	岸本宗久編著 『海上衝突予防 法史概説』 (成山堂書店)	畑本郁彦著 「内航船の安全管理体制 構築に関する研究」 (神戸大学海事科学研究 科海事科学専攻博士学位 論文)	今津隼馬 (東京海洋大学名誉教授)	谷川夏樹(画家) (船や海運に関する絵本 『かもつせんのいちにち』 ・『コンテナくん』等に 対して)
2019 年 令和元年	該当なし	丹羽康之著 「海上無線通信を活用し た船舶の位置情報共有に 関する研究」 (東京海洋大学大学院海 洋科学技術研究科応用環 境システム学専攻 博士 学位論文)	富田昌宏 (神戸大学名誉 教授)	海部陽介(人類進化学者) (「3 万年前の航海徹底 再現プロジェクト」 に対して)  及び  野間恒(海事史家) (長年にわたる海事史 研究活動に対して)
2020 年 令和 2 年	小林登著 『定期傭船契約論』 (信山社出版)  及び  水本邦彦著『海辺を行き交 うお触れ書き－浦触の語 る徳川情報網－』 (吉川弘文館)	該当なし	池田宗雄 (元東海大学海洋学部 教授)	菊池金雄 (長年にわたる太平洋 戦争時の徴用船の記録 ・取材活動に対して)

## (資料 4) 山縣記念財団の年表

西暦 (和暦)	財団関連事項	一般社会・海運関連事項	為替平均 US\$
1662 (寛文 2) 年	初代辰馬吉左衛門 (辰馬本家酒造)、 西宮で清酒の醸造を始める		
1840 (天保 11) 年	「宮水」が名酒造水であることが分かる		
1842 (天保 13) 年	第 10 代辰馬吉左衛門、西宮酒造家の総代とな る	1853 年 ペリー艦隊来航 1858 年 日米修好通商条約調印 1859 年 横浜開港 1868 年 神戸開港、明治維新	
1874 (明治 6) 年		1874 年 台湾出兵 (征台の役) 1876 年 7 月 20 日明治天皇、明治丸で東北巡 幸より横浜港へ帰着 11 月明治丸小笠原領有確認航海	
1885 (明治 18) 年	辰馬本家酒造は辰馬回漕店を設立 (1885-1901)	1884 年 大阪商船設立 1885 年 日本郵船設立	
1889 (明治 22) 年	「白鹿」酒造石高全国第 1 位	1894 年 日清戦争勃発 (-'95) 1899 年 条約改正により居留地は返還	
1901 (明治 34) 年	辰馬回漕店を改組、合資会社辰馬本家酒造の汽 船部設立 (西宮) (1901-1905)	1901 年 神戸で日本海運同盟会 (後の日本船主協会) 発足 1904 年 日露戦争勃発 (-'05)	
1909 (明治 42) 年	辰馬汽船合資会社設立 (1909-1916) 代表・辰馬勇治郎		
1916 (大正 5) 年	辰馬汽船「株式会社」発足 (1916-1947)、 初代社長 辰馬勇治郎就任 辰馬汽船合資会社より汽船 6 隻を買取る	1914 年 第 1 次世界大戦勃発 (-'18) 1914 年 神戸海運業組合発足	
1917 (大正 6) 年	辰馬本家酒造「株式会社」が設立 甲陽学院が開校	1916-1919 年 船成金が多く出る	
1919 (大正 8) 年	辰馬海上火災保険 (株) 創業 社長 辰馬吉左衛門	1918 年 日本商船隊は英米に次ぐ世界第 3 位 に	
1920 (大正 9) 年	高級酒「黒松白鹿」の新醸造に成功	1921 年 神戸海運集会所発足	2 円
1925 (大正 14) 年	山縣勝見 (旧姓辰馬)、東大卒業後辰馬海上に 入社	1923 年 関東大震災	
1930 (昭和 5) 年	山縣勝見、辰馬海上常務取締役就任	1929 年 アメリカ発の世界恐慌	
1932 (昭和 7) 年	山縣勝見、辰馬汽船取締役就任		
1938 (昭和 13) 年	山縣勝見、辰馬汽船社長に就任 「地領丸」(後の「宗谷」) 竣工	1937 年 日中戦争勃発 (-'45) 1939 年 第 2 次世界大戦勃発 (-'45)	
1940 (昭和 15) 年	山縣勝見、辰馬海上副社長に就任 財団法人辰馬海事記念財団設立、山縣勝見理事 長に就任 (-'76) 1946 辰馬海事文化研究所と改名 1947 海事文化研究所に改名 1964 山縣記念財団と改名 (現在の名称)	1940 年 紀元 2600 年祝賀行事 1941 年 「海の記念日」制定 太平洋戦争勃発 (-'45)	4 円 25 銭
1944 (昭和 18) 年	『海事研究年報』第 1 号発行 その後戦禍のため休刊 (1965 年復刊) 山縣勝見、辰馬海上社長に就任		
1944 (昭和 19) 年	4 社合併により興亜海上火災運送保険 (株) 設 立、山縣勝見は会長に就任 1954 興亜火災海上保険に改名	1942 年 船舶運営会が出来る 1945 年 日本、ポツダム宣言受諾、終戦 1946 年 喪失船舶への戦時補償打切り	

西暦 (和暦)	財団関連事項	一般社会・海運関連事項	為替平均 US\$
1947 (昭和 22)年	辰馬汽船は辰馬本家の経営より離れ(財閥解体のため)、新日本汽船株式会社として新たに再スタート ('64) 山縣勝見社長に就任	1947年 計画造船始まる ('87)	
1948 (昭和 23)年	由起しげ子『本の話』*で芥川賞受賞 (※著者の義兄が財団に保険関係の蔵書を寄託した実話に基づく小説。田村茂著『海、船、そして海運』p.108-119 参照)		
1950 (昭和 25)年	山縣勝見参議院議員となる ('56)	1950年 朝鮮戦争勃発 ('53)	360 円
1951 (昭和 26)年	山縣勝見、アメリカ側と度重なる海運交渉。また吉田内閣の随員としてサンフランシスコ講和会議に列席	1951年 サンフランシスコ平和条約署名 (1952年 発効)	
1954 (昭和 29)年	新日本汽船で「戸田ゼミ」が始まる 「辰和丸」遭難事故発生	1956年 「宗谷」南極観測へ	
1957 (昭和 32)年	山縣勝見、興亜火災の社長に就任		
1959 (昭和 34)年	山縣勝見、『風雪十年』を發刊	1960年 国民所得倍増計画	
1964 (昭和 39)年	「新日本近海汽船」が分離独立でスタート (1964/2/1) 新日本汽船が山下汽船との合併により山下新日本汽船として再スタート 山縣勝見同社会長に就任	1964年 海運集約、東京五輪	
1965 (昭和 40)年	『海事交通研究』(年報)復刊	1966年 北米航路コンテナ化 日本海運経済学会結成 1971年 ニクソン・ショック スミソニアン合意 1973年 第1次オイル・ショック 変動相場制移行	1971年 308 円
1976 (昭和 51)年	山縣勝見逝去 (1902-1976) 松本一郎、理事長に就任 ('92)		297 円
1977 (昭和 52)年	NHK 連続テレビ小説「風見鶏」*で神戸異人館ブームに(※舞台となった「風見鶏の館」は1909年山縣勝見の所有となり、戦後長く、「新日本汽船天神寮」の名で使用され、財団研究室もその中にあった)	1979年 第2次オイル・ショック	180 円
1982 (昭和 57)年		1982年-1987年 海運大不況に 1983年 三光汽船の大量発注 1985年 プラザ合意、 三光汽船倒産 1986年 バブル経済期 (12月-'91年2月まで 51か月間)	249 円
1989 (平成元)年	山下新日本汽船がジャパンラインとの合併によりナビックスラインとして再スタート	1989年 ベルリンの壁崩壊 Exxon Valdez 油濁事故 1991年 日本経済バブル崩壊 ソビエト連邦崩壊	138 円
1995 (平成 7)年		1995年 阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件 「海の日」制定 (1998年施行・2003年 「海の日」制定 (1998年施行・2003年 年ハッピーマンデー法施行、7月第3 月曜に)	94 円 1995年 4月 79 円 75 銭



西暦 (和暦)	財団関連事項	一般社会・海運関連事項	為替平均 US\$
1999 (平成 11)年	ナビックスラインが大阪商船三井船舶との合併により商船三井として再スタート	1998 年 内航海運暫定措置事業が始まる 1999 年 海運大手 3 社体制に 2000 年 海事クラスター (マリタイムジャパン) の研究会が設置	114 円
2001 (平成 13)年	興亜火災が日本火災との合併により日本興亜損保として再スタート 2014 損保ジャパン日本興亜 2020 損保ジャパン	2001 年 国土交通省が誕生 米国同時多発テロ 2002 年 中国経済の成長が顕著 2003 年 海運空前の好況 (-08)	120 円
2008 (平成 20)年	「山縣勝見賞」を創設	2007 年 「海洋基本法」施行 2008 年 リーマン・ショック 2009 年 トン数標準税制が実施	103 円
2010 (平成 22)年	山縣記念財団 70 周年 (2010.6.3)		90 円
2011 (平成 23)年		2011 年 東日本大震災	80 円 2011 年 10 月 75 円 32 銭
2012 (平成 24)年	新公益法人制度により「一般財団法人」に移行する 田村茂『海、船、そして海運』初版発刊 辰馬本家酒造の発足より 350 年		80 円
2013 (平成 25)年	新日本近海汽船 50 周年 (2013.2.1.) 『海想～海運業界の想い出話集～』発刊 財団事務所を八丁堀「正和ビル」に移転		98 円
2014 (平成 26)年	「山縣勝見賞」に特別賞新設 山岸寛著『海運 70 年史』発刊	2014 年 世界各地に海賊の脅威 2015 年 新スエズ運河開通 韓国で「セウォル号」沈没 2016 年 英国民投票「EU 離脱」 パナマ運河新閘門開通	106 円
2017 (平成 29)年	『海事交通研究』に査読制度導入 高田富夫著『ロジスティック管理の方法』発刊	2017 年 小・中学校「新学習指導要領」公示 (海事産業の重要性について明記) 邦船 3 社定航新会社「オシャン・ネットワーク・エクスプレス (ONE)」設立	112 円
2018 (平成 30)年	逸見真編著『船長職の諸相』発刊		110 円
2019 (平成 31- 令和元)年	『海事交通研究』(2018 年第 67 集) 指定テーマ「海事教育の現場から」抜き刷りを官公庁・教育現場に配布	2019 年 天皇退位により皇位継承 令和へ改元	109 円
2020 (令和 2)年	山縣記念財団 80 周年 (2020.6.3)	2020 年 海運 SO <sub>x</sub> 規制強化 新型コロナウイルス感染症、世界で 流行、東京五輪 2021 年に延期	105 円
2021 (令和 3)年	山縣記念財団 80 周年記念出版『日本の海のレジェンドたち』発刊予定		